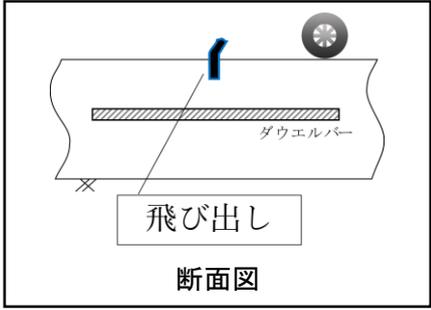
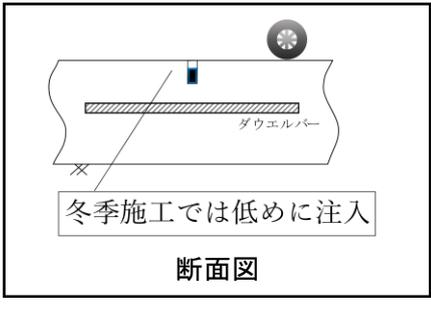
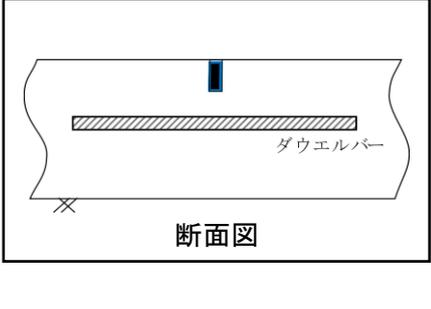


発生箇所	②横目地	
分類	材料・施工	
参考箇所	4-8-6 目地の施工, 9-3-2 目地部の破損	
●内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供用中に注入目地材のはみ出しが生じた。</li> </ul>	
		
●原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季にコンクリート版の膨張により目地幅が狭くなるため、注入目地材がはみ出し、これをタイヤが引きずり出した。</li> <li>・注入目地材の温度管理が不十分であり、過加熱による樹脂の変質により、弾性や付着力の低下を招いたことも要因として考えられる。</li> </ul>	
	 <p style="text-align: center;">断面図</p>	
●発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注入目地材の充填の原則として、コンクリート打設が夏季であれば、ほぼ表面まで充填し、冬季ではやや低めに充填する。</li> </ul>	
	 <p style="text-align: center;">断面図</p>	
●発生した場合の対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目地材を撤去し、内部を清掃し、再度目地材の注入を行う。</li> <li>・版厚が厚く、目地溝が深い場合は、夏季における注入目地材を少なくするためにバックアップ材を用い、上部深さ 40mm に注入目地材を充填してもよい。</li> </ul>	
	 <p style="text-align: center;">断面図</p>	